

まちの未来を考える  
子ども未来会議



子どもたちにとっても、大人の  
思いを知る良い機会となりました

10/12  
木



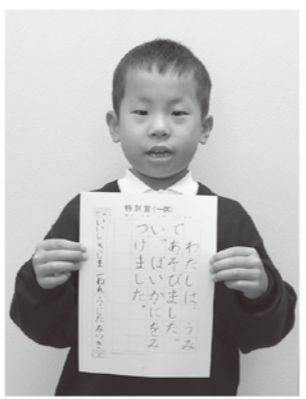
会場いっぱいの参加者



講師の児島邦宏名誉教授

頼原農村環境改善センターみせ  
んを会場に「子ども未来会議」を開  
催し、約300人が参加しました。  
講師の東京学芸大学名誉教授の  
児島邦宏さんは、「子どもの学びは  
“体験”から始まる。理屈・理論から  
は入らない。体験から『なぜ、どうし  
て』という理論につなげ、実践するこ  
とが大切だ」と参加者に伝えまし  
た。  
また、意見交換では、参加者同士  
で「子どもにさせたい体験」「子ども  
たちが目指す姿になっていくため  
に、自分が明日から取り組むこと」  
などを熱く語り合っていました。

宇治田光希さん  
硬筆書写コンクールで特別賞(二席)を受賞



宇治田光希さん (来島小1年)

平成29年度の島根県硬筆書写コ  
ンクールで、来島小学校(1年)の宇  
治田光希さんが、特別賞(二席)を受  
賞しました。  
各学年の特に優れた作品5点が  
特別賞に選ばれ、その中でも最も優  
れた作品が一席となります。県内の  
1年生の出品5604点の中で1  
番となった宇治田さんは、「うれしい  
です。来年もがんばる」と話してい  
ました。

文化の華ひらく  
来島地区文化祭

10/29  
日

10月29日、来島基幹集落センター  
で「第37回来島地区文化祭」が開催  
されました。  
会場内では、各文化団体によるス  
テージ発表や作品展示が行われた  
ほか、屋外では、地区住民や有志な  
どによる飲食店が並び、来場者のお腹  
を満たしていました。  
また、特殊詐欺被害防止の寸劇で  
は、詐欺師だと思っていた側がだま  
されるといふまさかの展開に、会場  
からは大きな笑い声が起こってい  
ました。



日本民謡朝啄会の皆さんによる民謡の演奏

地域を上げて  
銀山街道に案内看板を設置

10/26  
木

観光などで赤名を訪れた人が、銀  
山街道に立ち寄りやすいようにと、  
案内看板4本が設置されました。  
(下赤名1本、上赤名3本)  
山陽、石見・出雲の交通の要所と  
して栄えた宿場町「赤名」。石見銀山  
が世界遺産に登録されてから10年  
が経過し、赤名地域でも銀山街道を  
中心に、歴史・文化への関心も高まっ  
ています。日本遺産の認定に向け  
て、地域をあげての取り組みが進ん  
でいます。



赤名地域まちづくり連絡会の皆さんが設置

伝説にちなんで  
野見宿禰  
尻ずもう大会

10/8  
月・祝



尻合って、尻合って~

めんがみ山収穫祭に合わせて「第  
2回野見宿禰尻ずもう大会」が開  
催されました。  
今年は、団体戦も加わり28人が熱  
戦を繰り広げました。栄えある優勝  
者は次のとおりです。

- 小学校低学年の部 明見廣惺さん
- 小学校高学年の部 田中翔也さん
- 一般女子の部 横田華恋さん
- 一般男子の部 長田遊学さん
- 団体戦 瀬戸・向谷

新たな出発  
頼原公民館まつり

10/15  
日

交流センターとんぼらを会場に、  
「第12回頼原公民館まつり」が開催  
されました。  
館内の茶室では抹茶が振る舞わ  
れたほか、写真や習字、編み物など  
各団体の発表や展示、子どもたち  
によるバザーなどがあり、多くの来場  
者でにぎわいました。  
頼原公民館館長の石川隆さんは、  
「新しい会場で反省点もあります  
が、雨の中多くの皆さんに来場し  
ていただき感謝したい」と話してい  
ました。



頼原中学校の吹奏楽部が会場を盛り上げます

20年先を見据えた地域づくり  
まちづくり講演会

10/27  
金



「田園回帰1%戦略」を提唱する講師の藤山浩さん

「まちづくり講演会」を、中山間地  
域研究センターで開催し、地域住民  
など約70人が参加しました。  
講師の(社)持続可能な地域社会  
総合研究所所長の藤山浩さん(日29  
3まで中山間地域研究センターで勤務)は、  
「人口の1%、地域外に流出してい  
る所得の1%を取り戻せば、地域の  
人口を維持し、暮らしや経済が継続  
的に成り立つ。地域同士の学び合い  
も必要だ」と参加者に伝えました。